



2021年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2021年5月12日

上場会社名 株式会社カーチスホールディングス
 コード番号 7602 URL <http://www.carchs-hd.com/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 取締役兼代表執行役社長 (氏名) 大庭 寿一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼執行役 (氏名) 長倉 統己

TEL 03-3239-3185

定時株主総会開催予定日 2021年6月24日

配当支払開始予定日

2021年6月25日

有価証券報告書提出予定日 2021年6月25日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期の連結業績(2020年4月1日～2021年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	16,031	0.4	236	319.8	243	251.6	157	1.0
2020年3月期	15,974	22.2	56		69		156	

(注) 包括利益 2021年3月期 173百万円 (12.3%) 2020年3月期 154百万円 (%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年3月期	7.63		2.8	3.2	1.5
2020年3月期	7.59		2.9	1.0	0.4

(参考) 持分法投資損益 2021年3月期 0百万円 2020年3月期 百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	7,648	5,771	73.3	271.04
2020年3月期	6,950	5,598	78.3	263.42

(参考) 自己資本 2021年3月期 5,605百万円 2020年3月期 5,445百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期	319	181	112	2,227
2020年3月期	762	88	19	2,841

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年3月期		0.00		0.00	0.00	0	0.0	0.0
2021年3月期		0.00		2.00	2.00	41	26.2	0.7
2022年3月期(予想)								

2022年3月期の基準日における配当予想につきましては、現時点では未定のため開示しておりません。配当予想を決定しましたら速やかに開示いたします。

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	8,800	29.4	160		160		115		5.56
通期	18,500	15.4	400	69.5	395	62.6	280	78.3	13.55

注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 以外の会計方針の変更 : 無
 会計上の見積りの変更 : 無
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期	24,087,009 株	2020年3月期	24,087,009 株
期末自己株式数	2021年3月期	3,416,391 株	2020年3月期	3,415,391 株
期中平均株式数	2021年3月期	20,671,206 株	2020年3月期	20,567,993 株

(参考)個別業績の概要

2021年3月期の個別業績(2020年4月1日～2021年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	404	5.7	33	0.8	35	14.6	24	80.1
2020年3月期	428	22.0	33	56.0	41	51.9	123	40.5

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期	1.18	
2020年3月期	5.98	

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
2021年3月期	4,947		4,652		94.0		224.95	
2020年3月期	5,076		4,628		91.1		223.77	

(参考) 自己資本 2021年3月期 4,649百万円 2020年3月期 4,625百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 企業集団の状況	4
3. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
4. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項)	12
(セグメント情報等)	13
(1株当たり情報)	15
(重要な後発事象)	15

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度（2020年4月1日から2021年3月31日）におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況にあるなか、持ち直しの動きが続いているものの、再び緊急事態宣言が発出されるなど、依然として不透明な状況にあります。

当社グループが属する自動車業界におきましては、新車登録台数（軽自動車含む）は、385万台（乗用のみ、貨物・バス等除く）となり、前期比7.5%減少となりました。中古車登録台数（軽自動車含む）は、577万台（乗用のみ、貨物・バス等除く）となり、前年同期比で0.8%の減少となりました（出典：一般社団法人日本自動車販売協会連合会、一般社団法人全国軽自動車協会連合会）。

このような環境の中で当社グループは、前期より『顧客ファースト』のスローガンの下、良質な車輜をお客様から買い取り、次のお客さまへ直接販売する「買取直販」を重視してまいりました。また、多様化する顧客ニーズに対応するため、「ピッカピ・カー」のカーチスを目指し、エアコン洗浄サービスやコーティングサービスの拡充、さらに、購入後のアフターメンテナンスを充実するための保証・メンテナンスサービスの拡充を図り、付帯収益の向上を図りました。また、今後ますます拡大していくインターネット販売にも力を注ぎ、魅力ある車輜の掲載を行ないました。さらに、オークション相場も好調に推移したことにより、利益を押し上げました。BtoB取引においては、引き続きカーチス倶楽部会員との連携を強化するとともに、国内有力企業との新たな業務提携により、輸出向けの在庫共有や商用車の買取・販売など、取引先開拓を進めた結果、売上総利益率が21.9%と前年同期比で0.8%改善いたしました。

その結果、売上高16,031百万円（前年同期比0.4%増）となり、営業利益236百万円（前年同期比319.8%増）、経常利益243百万円（前年同比251.6%）、親会社株主に帰属する当期純利益は157百万円（前年同期比1.0%増）を計上することとなり、前期より大幅に改善いたしました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資 産)

当連結会計年度末の資産合計は、7,648百万円となり、前連結会計年度末に比べ698百万円増加いたしました。主な要因は、売掛金の増加891百万円、商品の増加303百万円などによるものであります。

(負 債)

当連結会計年度末の負債合計は、1,876百万円となり、前連結会計年度末に比べ525百万円増加いたしました。主な要因は、買掛金の増加754百万円、長期借入金の減少100百万円などによるものであります。

(純資産)

当連結会計年度末の純資産合計は、5,771百万円となり、前連結会計年度に比べ172百万円増加いたしました。主な要因は利益剰余金の増加によるものであります。

この結果、自己資本比率は、73.3%（前連結会計年度末は78.3%）となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比べ613百万円減少し、残高は2,227百万円となりました。なお、当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況は以下の通りです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

税金等調整前当期純利益は238百万円となり、仕入債務の増加754百万円等の増加要因と、売上債権の増加891百万円、たな卸資産の増加348百万円等の減少要因により、319百万円の支出となりました（前期は762百万円の収入）。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

有形固定資産の取得による支出97百万円、無形固定資産の取得による支出65百万円等の減少要因により、181百万円の支出となりました（前期は88百万円の支出）。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

短期借入金の返済10百万円、長期借入金の返済100百万円等の減少要因により、112百万円の支出となりました（前期は19百万円の収入）。

なお、当社グループのキャッシュ・フロー指標は次のとおりです。

項目	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期
自己資本比率(%)	69.1	71.8	72.5	78.3	73.3
時価ベースの自己資本比率(%)	81.9	80.4	77.4	75.9	82.5
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	△68.3	305.8	△1.49	415.0	△315.3

(注) 自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

1. 各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

2. 利払いは、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を利用しております。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、引き続き新型コロナウイルス感染症の市場に対する影響に留意が必要であるとともに、当社グループが属する自動車業界の状況は、少子化や若年層の自動車離れという構造的問題のほか、カーリース・カーシェアリングなど自動車の所有方法の多様化、消費者の節約志向などの影響によって、不透明な状況が続くことが見込まれます。

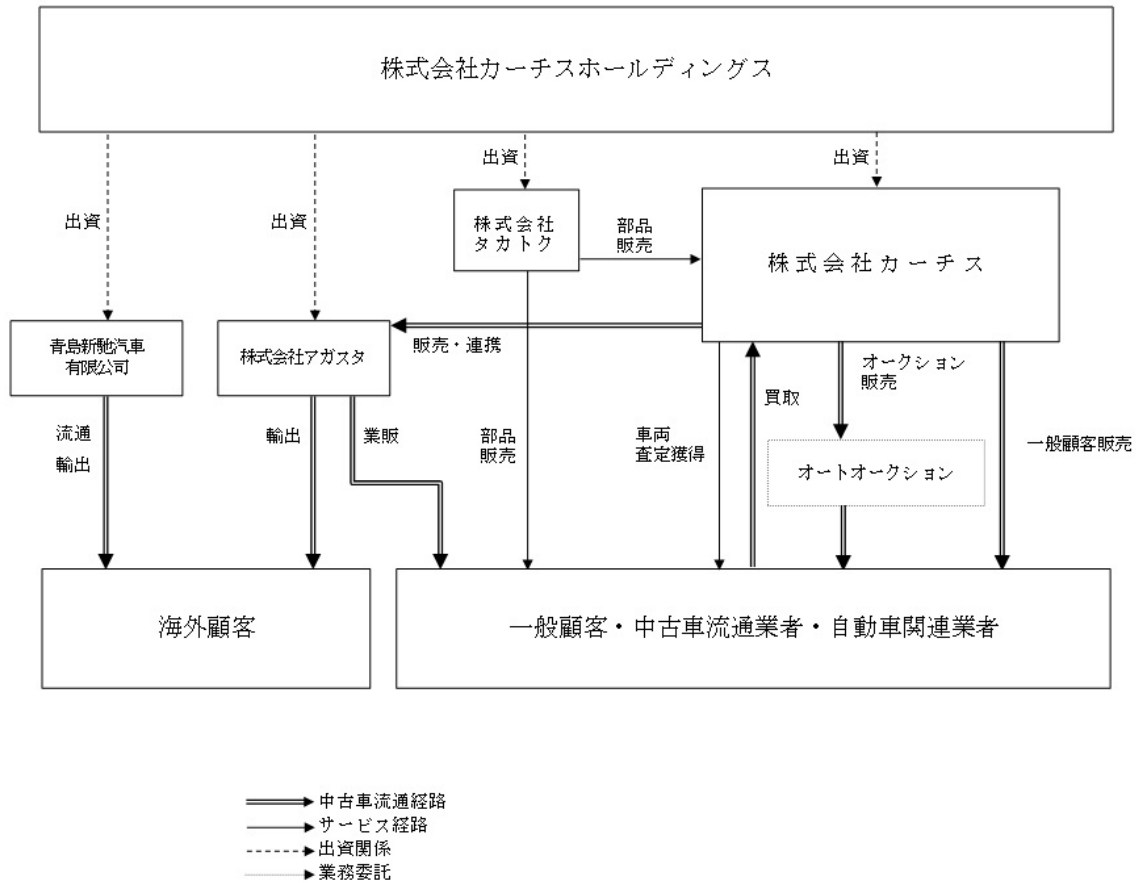
こうした市場環境の中で、当社グループは、国内事業においては、引き続き『顧客ファースト』のローガンの下、大型販売センターへ良質な商品を供給すべく買取店との連携をより強め、「買取直販」の営業施策を進めてまいります。また、お客様との関係をより強固にする取り組みとして、車検・保険などのアフターサービスの拡充や、多様化する顧客ニーズに対応するための付帯サービスの開発、開拓を行い、価値のある商品と質の高いサービスの提供に努めてまいります。引き続きカーチス倶楽部会員との関係を強化するとともに、他社との在庫共有や商車の買取・販売などのBtoB取引により売上を拡大していきます。さらには新規出店やM&Aによって積極的な店舗展開を図ってまいります。

海外事業においては、新華錦集団有限公司のグループ会社との合弁会社である青島新馳汽車有限公司において、アジアを中心とした中継ぎ貿易の本格化させるとともに、国内で培ってきた自動車流通や査定技術のノウハウを活かして全世界へ向けた事業展開を目指してまいります。また、大手海外輸出企業との関係を強め、輸出台数の拡大を図ってまいります。

以上により、次期の見通しにつきましては、売上高18,500百万円（前年同期比15.4%増）、営業利益400百万円（前年同期比69.5%増）、経常利益395百万円（前年同期比62.6%増）、親会社株主に帰属する当期純利益280百万円（前年同期比78.3%増）となる見込みであります。

なお、新型コロナウイルス感染症による業績への影響は現時点では見通すことが困難なため、今後、修正の必要が生じた場合は、速やかに開示いたします。

2. 企業集団の状況



(注) 青島新馳汽車有限公司は、2020年1月7日付で設立され、当社の持分法適用関連会社となっております。

3. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

4. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,441,292	2,827,632
売掛金	323,156	1,214,254
商品	1,257,200	1,561,128
貯蔵品	674	672
その他	153,574	142,288
貸倒引当金	△766	△766
流動資産合計	5,175,132	5,745,211
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,084,244	1,082,556
減価償却累計額	△726,764	△767,609
建物及び構築物 (純額)	357,480	314,947
土地	460,496	460,496
建設仮勘定	—	85,721
その他	199,626	209,171
減価償却累計額	△158,165	△164,796
その他 (純額)	41,460	44,375
有形固定資産合計	859,436	905,540
無形固定資産		
ソフトウェア仮勘定	395,741	450,339
その他	5,204	11,342
無形固定資産合計	400,946	461,681
投資その他の資産		
投資有価証券	53,516	56,527
差入敷金保証金	454,835	473,701
破産更生債権等	1,619	1,499
その他	16,129	16,004
貸倒引当金	△11,594	△11,474
投資その他の資産合計	514,506	536,258
固定資産合計	1,774,890	1,903,480
資産合計	6,950,023	7,648,691

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	207,201	961,541
短期借入金	20,000	10,000
1年内返済予定の長期借入金	100,000	75,000
未払金	219,947	205,861
未払法人税等	59,929	58,683
前受金	296,553	240,147
役員賞与引当金	—	3,546
資産除去債務	—	5,316
その他	183,051	136,509
流動負債合計	1,086,683	1,696,607
固定負債		
長期借入金	75,000	—
預り保証金	10,317	11,117
繰延税金負債	9,005	7,638
資産除去債務	160,361	155,926
その他	9,831	5,687
固定負債合計	264,514	180,370
負債合計	1,351,197	1,876,977
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,816,034	2,816,034
資本剰余金	846,636	846,636
利益剰余金	2,871,921	3,029,549
自己株式	△1,089,341	△1,089,609
株主資本合計	5,445,251	5,602,610
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	—	3,287
その他の包括利益累計額	—	3,287
新株予約権	2,710	2,710
非支配株主持分	150,862	163,105
純資産合計	5,598,825	5,771,713
負債純資産合計	6,950,023	7,648,691

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
売上高	15,974,234	16,031,491
売上原価	12,610,421	12,527,445
売上総利益	3,363,813	3,504,045
販売費及び一般管理費	3,307,369	3,267,110
営業利益	56,443	236,935
営業外収益		
受取利息	3,513	2,084
受取配当金	1,543	1,594
受取保証料	1,990	2,097
金利スワップ評価益	1,093	647
補助金収入	—	7,061
雑収入	17,064	7,719
営業外収益合計	25,205	21,204
営業外費用		
支払利息	1,837	1,013
支払保証料	7,272	7,303
為替差損	1,533	27
持分法による投資損失	—	276
雑損失	1,645	5,550
営業外費用合計	12,288	14,172
経常利益	69,360	243,967
特別利益		
受取保険金	11,374	—
固定資産売却益	118,990	—
店舗閉鎖損失引当金戻入額	22,094	—
特別利益合計	152,459	—
特別損失		
減損損失	1,686	3,527
災害による損失	6,431	—
違約金損失	—	1,687
特別損失合計	8,118	5,214
税金等調整前当期純利益	213,701	238,753
法人税、住民税及び事業税	64,763	70,250
法人税等調整額	△5,290	△1,366
法人税等合計	59,472	68,883
当期純利益	154,228	169,869
非支配株主に帰属する当期純利益又は非支配株主に 帰属する当期純損失(△)	△1,885	12,242
親会社株主に帰属する当期純利益	156,114	157,627

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
当期純利益	154,228	169,869
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	—	3,287
その他の包括利益合計	—	3,287
包括利益	154,228	173,156
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	156,114	160,914
非支配株主に係る包括利益	△1,885	12,242

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,816,034	846,636	2,872,378	△1,366,268	5,168,780
当期変動額					
剰余金の配当			△79,213		△79,213
親会社株主に帰属する当期純利益			156,114		156,114
自己株式の取得				△429	△429
自己株式の処分			△77,356	277,356	199,999
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	△456	276,927	276,470
当期末残高	2,816,034	846,636	2,871,921	△1,089,341	5,445,251

	その他の包括利益累計額		新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	—	—	2,710	152,748	5,324,239
当期変動額					
剰余金の配当					△79,213
親会社株主に帰属する当期純利益					156,114
自己株式の取得					△429
自己株式の処分					199,999
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	—	—	—	△1,885	△1,885
当期変動額合計	—	—	—	△1,885	274,585
当期末残高	—	—	2,710	150,862	5,598,825

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,816,034	846,636	2,871,921	△1,089,341	5,445,251
当期変動額					
剰余金の配当					—
親会社株主に帰属する当期純利益			157,627		157,627
自己株式の取得				△267	△267
自己株式の処分					—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	157,627	△267	157,360
当期末残高	2,816,034	846,636	3,029,549	△1,089,609	5,602,610

	その他の包括利益累計額		新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	—	—	2,710	150,862	5,598,825
当期変動額					
剰余金の配当					—
親会社株主に帰属する当期純利益					157,627
自己株式の取得					△267
自己株式の処分					—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	3,287	3,287	—	12,242	15,529
当期変動額合計	3,287	3,287	—	12,242	172,889
当期末残高	3,287	3,287	2,710	163,105	5,771,713

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	213,701	238,753
減価償却費	58,787	90,732
減損損失	1,686	3,527
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1,744	△120
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△4,963	—
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	—	3,546
店舗閉鎖損失引当金の増減額 (△は減少)	△10,043	—
受取利息及び受取配当金	△5,057	△3,678
支払利息	1,837	1,013
受取保険金	△11,374	—
固定資産売却益	△118,990	—
売上債権の増減額 (△は増加)	183,706	△891,098
たな卸資産の増減額 (△は増加)	762,871	△348,345
未収入金の増減額 (△は増加)	23,475	19,506
前渡金の増減額 (△は増加)	201,245	△8,292
仕入債務の増減額 (△は減少)	△100,473	754,339
破産更生債権等の増減額 (△は増加)	2,056	120
未払金の増減額 (△は減少)	△218,652	△5,284
未払費用の増減額 (△は減少)	△48,719	△529
前受金の増減額 (△は減少)	△85,804	△56,406
預り金の増減額 (△は減少)	△51,485	4,471
未払消費税等の増減額 (△は減少)	39,086	△50,446
その他	△39,762	15,640
小計	791,383	△232,549
利息及び配当金の受取額	5,057	4,656
利息の支払額	△1,837	△1,013
災害による保険金収入	11,374	—
法人税等の支払額	△43,838	△90,860
法人税等の還付額	529	139
営業活動によるキャッシュ・フロー	762,669	△319,627
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△7,495	△97,799
有形固定資産の売却による収入	174,076	—
無形固定資産の取得による支出	△236,671	△65,005
資産除去債務の履行による支出	△16,911	△374
敷金及び保証金の差入による支出	△127	△19,751
敷金及び保証金の回収による収入	31,834	953
投資有価証券の取得による支出	△33,340	—
その他	—	10
投資活動によるキャッシュ・フロー	△88,635	△181,966
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△1,532	△1,576
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	△10,000
長期借入金の返済による支出	△100,000	△100,000
自己株式の取得による支出	△429	—
自己株式の処分による収入	199,999	△267
配当金の支払額	△78,376	△218
その他	130	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	19,792	△112,062
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,433	△2
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	695,260	△613,660
現金及び現金同等物の期首残高	2,146,032	2,841,292
現金及び現金同等物の期末残高	2,841,292	2,227,632

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項)

1 連結の範囲に関する事項

連結子会社の数 3社

主要な連結子会社の名称

株式会社カーチス、株式会社タカトク、株式会社アガスタ

2 持分法の適用に関する事項

持分法適用の関連会社数 1社

持分法適用の関連会社の名称

青島新馳汽車有限公司

なお、持分法を適用していない非連結子会社及び関連会社はありません。

3 連結子会社の事業年度等に関する事項

連結子会社の決算日は連結決算日と一致しております。

4 会計方針に関する事項

(1) 重要な資産の評価基準及び評価方法

① 棚卸資産

通常の販売目的で保有する棚卸資産

個別法による原価法（連結貸借対照表価額は、収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定）
によっております。

② 有価証券

その他有価証券

時価のないもの

移動平均法による原価法によっております。

③ デリバティブ

時価法によっております。

(2) 重要な減価償却資産の減価償却方法

① 有形固定資産（リース資産を除く）

定率法によっております。

ただし、1998年4月1日以降に取得した建物（建物附属設備を除く）並びに2016年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物については、定額法を採用しております。

なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。

建物及び構築物 2年～50年

② 無形固定資産（リース資産を除く）

定額法によっております。

なお、ソフトウェア（自社利用分）については、社内における利用可能期間（5年）に基づく定額法により規則的な償却を行っております。

③ リース資産

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

リース期間を耐用年数として、残存価格を零とする定額法を採用しております。

(3) 重要な引当金の計上基準

① 貸倒引当金

売上債権、貸付金等の貸倒損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

② 役員賞与引当金

役員に対する賞与の支給に充てるため、支給見込額に基づき計上しております。

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲

手許現金、要求払預金及び取得日から3ヶ月以内に満期日の到来する流動性の高い、容易に換金可能であり、かつ、価値の変動について僅少なリスクしか負わない短期的な投資からなっております。

(5) その他連結財務諸表作成のための重要な事項

① 消費税等の会計処理

税抜方式によっております。

② 連結納税制度

連結納税制度を適用しております。

なお、当社及び一部の国内連結子会社は、「所得税法等の一部を改正する法律」(2020年法律第8号)において創設されたグループ通算制度への移行及びグループ通算制度への移行にあわせて単体納税制度の見直しが行われた項目については、「連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用に関する取扱い」(実務対応報告第39号 2020年3月31日)第3項の取扱いにより、「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2018年2月16日)第44項の定めを適用せず、繰延税金資産及び繰延税金負債の額について、改正前の税法の規定に基づいております。

(セグメント情報等)

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

当社グループは、自動車関連事業の単一セグメントのため、記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

当社グループは、自動車関連事業の単一セグメントのため、記載を省略しております。

(関連情報)

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

1 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位:千円)

日本	アジア	オセアニア	アフリカ	その他	合計
15,495,779	14,938	208,029	137,598	117,887	15,974,234

(注)売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に保有している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

1 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位:千円)

日本	アジア	オセアニア	アフリカ	その他	合計
15,736,279	12,657	129,799	74,425	78,328	16,031,491

(注)売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に保有している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

当社グループは、単一セグメントとしているため、記載を省略しております。

当連結会計年度（自 2020年4月1日 至 2021年3月31日）

当社グループは、単一セグメントとしているため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2020年4月1日 至 2021年3月31日）

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2020年4月1日 至 2021年3月31日）

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)		当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	
1株当たり純資産額	263.42円	1株当たり純資産額	271.04円
1株当たり当期純利益金額	7.59	1株当たり当期純利益金額	7.63
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額	—	潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額	—

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載していません。

2 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	156,114	157,627
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	156,114	157,627
普通株式の期中平均株式数(株)	20,567,993	20,671,206
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額	—	—
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	—	—
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式の概要	—	—

(重要な後発事象)

該当事項はありません。